

クラブ職業奉仕委員長会議報告

2640 地区職業奉仕委員会

委員長 角 谷 浩 二

7月30日(日)クラブ職業奉仕委員長会議が、三軒ガバナー、前田カウンセラー、平尾直前ガバナー、平原ガバナーエレクト、丸山、杉本、近藤各地区委員、そして地区役員の皆様と各クラブ職業奉仕委員長様ご出席のもと開催されました。

クラブにおける職業奉仕委員会活動は、職業活動表彰、職場見学、青少年職業体験学習等がありますが、クラブ委員長にとってもっとも重要な仕事は「職業奉仕」という理論を理解し、それをクラブ会員に説明し理解してもらうことではないでしょうか。職業奉仕部門は理論の部門です。理論が解かってからこそ活動ができるのです。私は職業奉仕を理解するうえで3つの問題点を提起させていただきました。職業奉仕と社会奉仕をどのように区別するのか、職業奉仕という言葉について、職業奉仕の実践について、この3つを重点的にお話させていただきました。私はこれさえ理解していただければ、職業奉仕の基礎的理論は充分ではないかと思っています。しかし、非常に難解かつ理解しがたい部分でもあります。たった1回の会議ですべてを理解し得るものではありません。そこで、会議では話の内容をガバナー月信の「クラブ職業奉仕委員長会議報告」にて報告させていただき、それを参考にし「職業奉仕とは何か」を勉強していただくようお願いしておりましたが、あまりにも膨大な報告書になりますので、別紙にて各クラブ職業奉仕委員長様方にお送りさせていただきます。

今、クラブで職業奉仕が語られることが少なくなってきました。CLPが実施されようとする今こそ、ロータリーの原点である「職業奉仕」を理解し、他クラブとの違いを認識し、ロータリアン全員が「ロータリーに入ってよかった」と思っていただけのクラブ作りをしなければならないと思っています。